

03 巻頭言

コロナ禍の下での介護サービス相談

石井 信芳 (いしい・のぶよし)

介護サービス相談・地域づくり連絡会 代表

(特定非営利活動法人 地域共生政策自治体連携機構 代表理事・事務局長)

1979年厚生省(現厚生労働省)入省。厚生労働省老健局計画課長、健康局総務課長、大臣官房会計課長、東京社会保険事務局長、総務省消防庁審議官、厚生労働省年金管理審議官、医薬品医療機器総合機構理事、関東信越厚生局長を経て2014年退官。2021年より現職に就き、介護サービス相談員の研修や認知症サポーターキャラバンの活動などに従事。ダイヤ財団評議員。

04 Dia Report

実証研究からアクションリサーチへ

上原 桃美 (うえはら・ももみ)

—シルバー人材センターの生きがい就業に着目した研究の軌跡と展望—

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 研究員

桜美林大学大学院博士前期課程修了(老年学修士)、その後博士後期課程に入学し、満期退学。2013年5月にダイヤ高齢社会研究財団に入団。2017年4月より現職。財団では、シルバー人材センター会員の効果的な健康管理に関する共同研究事業を担当。科学研究費「高齢期の認知機能低下は生きがい就業を不可能にするか—支援方法構築のための基礎研究」の研究代表者(2018年4月—2021年3月)。

08 フォーカス高齢社会

大学生による新しい高齢者サロンの在り方

井上 映子 (いのうえ・えいこ)

—「Withコロナ オンライン高齢者サロン」開講を通して—

城西国際大学看護学部 高齢者看護学領域 教授

高知女子大学家政学部看護学科卒。東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了。博士(看護学)。千葉県立衛生短期大学看護学科講師、自治医科大学看護学部准教授を経て、2012年より現職。高齢者の生活機能「発話」と嚥下との関連基礎的研究と世代間交流活動に着手し、2017より年同大学地域連携推進センターに所属し、2021年所長として地域住民支援及び産官学連携に努めている。

12 財団研究紹介

「ストップ 介護離職」ダイヤ財団が重ねてきたメッセージ

森 義博 (もり・よしひろ)

ダイヤ高齢社会研究財団 企画調査部長

一橋大学経済学部卒。1981年明治生命(当時)入社。2001年から同グループの研究所で少子高齢化問題、介護保険制度等を研究後、2015年から当財団。著作は「人生100年時代の老後資金準備」(本誌通巻101号)、「就労者にとっての育児と介護」(日本FP協会『FPジャーナル』2021年4月号)等。

14 Dia Information

表紙撮影：吉羽健二郎氏「常陸風土記の丘(茨城県石岡市)」(2018年4月撮影)

※吉羽氏は、千葉県我孫子市で写真愛好家を対象に「448SCHOOL」という写真教室をご夫婦で運営されています。